＜様式1＞

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣　殿

地域型住宅グリーン化事業　適用申請書

【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実に相違ありません。

地域型住宅の名称	地域に根付くDAIKU　MINDの住まい
グループの名称	DAIKU　MINDの家造り
直近採択グループ番号	06-0658-0424

（グループ代表者）

代表者名	秋元　久雄	代表者印
代表者所属先	株式会社平成建設	
代表者所在地	静岡県沼津市大岡1540番地の1	
代表者電話番号	055-962-1000	

（グループ事務局）

事務局事業者名	株式会社平成建設	
事務局担当者名	半田　達人	印
事務局郵便番号	410-0022	
事務局所在地	静岡県沼津市大岡1540番地の1	
事務局電話番号	055-962-1000	
事務局FAX	055-952-1144	
事務局担当者E-mail	tatsuto_handa@heiseikensetu.co.jp	

※）　日付以外は、様式2-1からリンクする為、入力は必要はありません。

＜地域型住宅の生産体制＞　　＜様式２－１＞

１．地域型住宅の名称(必須)	地域に根付くDAIKU　MINDの住まい
２．グループの名称(必須)	DAIKU　MINDの家造り
３．直近採択グループ番号(必須)	06-0658-0424
４．地域型住宅供給対象地域(必須)	静岡県、神奈川県、東京都
５．結成年(必須)	2016　年
６．グループ代表者名(必須)	秋元　久雄
７．グループ代表者の所属先(必須)	株式会社平成建設
８．グループ代表者所在地(必須)	静岡県沼津市大岡1540番地の1
９．グループ代表者電話番号(必須)	055-962-1000
１０．グループ事務局事業者名(必須)	株式会社平成建設
１１．グループ事務局担当者名(必須)	半田　達人
１２．グループ事務局郵便番号(必須)	410-0022
１３．グループ事務局所在地(必須)	静岡県沼津市大岡1540番地の1
１４．グループ事務局電話番号(必須)	055-962-1000
１５．グループ事務局FAX番号(必須)	055-952-1144
１６．グループ事務局担当者E-mail(必須)	tatsuto_handa@heiseikensetu.co.jp

（構成員数）		（構成員を含まない理由）
Ⅰ．原木供給	9	原木供給業者が海外事業者であるため
Ⅱ．製材・集成材製造・合板製造	11	
Ⅲ．建材流通（木材を扱わない事業者を除く）	5	
Ⅳ．プレカット	6	
Ⅴ．設計	3	
Ⅵ．施工	7	
Ⅶ．木材を扱わない流通	0	
Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種	0	

	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称 ※以下該当の1、2、3の番号を番号記入欄に記入してください。 1.都道府県の産地認証制度等によるもの 2.民間の第三者機関による認証制度(FSC、PEFC、SGEC等) 3.林野庁作成の「木材・木材製品の合法性、持続可能性のためのガイドライン(平成18年2月)に基づき合法性が証明されるもの 4.クリーンウッドに基づき合法であることが確認された木材・木材製品（合法伐採木材等証明）	番号記入欄	国内・国外
A．使用する地域材に関する事項　(必須)	■　合法木材証明制度を利用する	国産材		3	国内
	■　合法木材証明制度を利用する	外材		3	国外
	□　PEFC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	■　PEFC認証制度を利用する	外材		2	国外
	□　SGEC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	□　FSC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	□　FSC認証制度を利用する	外材		2	国外
	□　FIPC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	□　クリーンウッド法に基づく証明	国産材		4	国内
	□　クリーンウッド法に基づく証明	外材		4	国外

B．平成３０年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数（必須）	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		5	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	5	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	2	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸
			未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		2	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	2	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸
	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		1	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	1	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸
			未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸
		性能向上計画認定住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上))の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸
			未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸
		ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限125万円)		3	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	3	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	1	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限125万円)		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸
			未経験工務店(3戸(7戸)以下)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限140万円)		1	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	1	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限140万円)		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸

C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数	今年度要望する棟数及び面積	0	棟	
			0	㎡	
		その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積	0	棟	
			0	㎡	

D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール （必須）	交付申請希望順に割り振りをするが、希望が多く割当棟数が少ない場合は、割当金額を、振り分ける事とします。

E．平成２９年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)									
		採択戸数	2	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)									
		採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)									
		採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)									
		採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	優良建築物型									
		採択棟数	0	棟	交付申請戸数	0	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	0	戸
		採択床面積	0	㎡	交付申請床面積	0	㎡	完了実績(竣工予定含む)床面積	0	㎡

＜様式 2-2・Ⅰ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅰ．原木供給（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に原木供給者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて原木供給者を含まないことがある場合の理由
原木供給業者が海外事業者であるため

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅰ．原木供給						
33	Ⅰ － 7	岡山県森林組合連合会		700-0866	岡山県岡山市北区岡南町2丁目5番地10号	086-222-7671
22	Ⅰ － 8	静岡県森林組合連合会		420-8601	静岡県静岡市葵区追手町９番６号	054-253-0195
22	Ⅰ － 9	株式會社フジイチ		431-3306	静岡県浜松市天竜区船明880番地	053-926-1232
22	Ⅰ － 10	有限会社 まるいチップ		417-0801	静岡県富士市大淵8281	0545-35-1025
13	Ⅰ － 11	日本製紙木材株式会社		101-8213	東京都千代田区神田駿河台4丁目6番	03-6665-7500
22	Ⅰ － 18	有限会社 渡邉木材		410-0319	静岡県沼津市井出1802番地の２	055-967-2344
13	Ⅰ － 20	協和木材株式会社		135-0016	東京都江東区東陽5丁目30番13号 東京原木会館	03-5857-5225
22	Ⅰ － 22	有限会社小寺製材所		412-0023	静岡県御殿場市深沢1766-21	0550-82-0192
34	Ⅰ － 36	広島県森林組合連合会		730-0017	広島県広島市中区鉄砲町4番1号	082-228-5111
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅱ．製材・集成材・合板製造（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

＜様式 2-2・Ⅱ＞

グループ構成員に製材・集成材・合板製造業者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて製材・集成材・合板製造業者を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅱ．製材・集成材・合板製造						
33	Ⅱ － 2	銘建工業株式会社		717-0013	岡山県真庭市勝山1209	0867-44-2569
33	Ⅱ － 3	院庄林業株式会社		708-0013	岡山県津山市二宮22番地の1	0868-28-2111
22	Ⅱ － 9	株式會社フジイチ		431-3306	静岡県浜松市天竜区船明880番地	053-926-1232
22	Ⅱ － 12	株式会社 ランバーリング・カツマタ		417-0801	静岡県富士市大淵字小河窪9260	0545-37-1233
22	Ⅱ － 13	富士ひのき加工協同組合		417-0801	静岡県富士市大淵4622番地	0545-37-0117
34	Ⅱ － 14	宮迫木材株式会社		728-0202	広島県三次市布野町下布野84-2	0824-54-2011
34	Ⅱ － 17	中国木材株式会社		737-0134	広島県呉市広多賀谷3-1-1	0823-71-7141
22	Ⅱ － 18	有限会社 渡邉木材		410-0319	静岡県沼津市井出1802番地の２	055-967-2344
13	Ⅱ － 20	協和木材株式会社		135-0016	東京都江東区東陽5丁目30番13号 東京原木会館	03-5857-5225
34	Ⅱ － 21	東亜林業株式会社		729-0105	広島県福山市南松永町三丁目2番20号	084-933-5150
22	Ⅱ － 22	有限会社小寺製材所		412-0023	静岡県御殿場市深沢1766-21	0550-82-0192
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅲ．建材流通（木材を扱わない事業者を除く、長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

＜様式 2-2・Ⅲ＞

グループ構成員に建材流通（木材を扱わない事業者を除く）を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて建材流通（木材を扱わない事業者を除く）を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅲ．建材流通（木材を扱わない事業者を除く）						
13	Ⅲ － 4	株式会社エヌ・シー・エヌ		108-0075	東京都港区港南1-7-18	03-6872-5601
22	Ⅲ － 15	株式会社田代商店		410-0314	静岡県沼津市一本松666-1	055-966-7192
34	Ⅲ － 17	中国木材株式会社		737-0134	広島県呉市広多賀谷3-1-1	0823-71-7141
22	Ⅲ － 23	榛南建材株式会社		421-0421	静岡県牧之原市細江2749-5	0548-22-1318
14	Ⅲ － 25	ナイス株式会社		230-8571	神奈川県横浜市鶴見区鶴見中央4-33-1	045-521-6161
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －				

＜グループ構成員記入用リスト＞　Ⅳ．プレカット（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

＜様式 2-2・Ⅳ＞

グループ構成員にプレカット事業者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいてプレカット事業者を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅳ．プレカット						
12	Ⅳ － 5	株式会社大三商行　東金工場		283-0826	千葉県東金市丘山台3-3	0475-54-6622
14	Ⅳ － 6	株式会社カナモク		252-0002	神奈川県座間市小松原一丁目22番8号	046-251-0866
22	Ⅳ － 16	ティエッチピーセンター株式会社		417-0801	静岡県富士市大淵1989番地1	0545-36-1486
22	Ⅳ － 19	ポラテック富士株式会社		417-0801	静岡県富士市大淵字元篤3800番地7	0545-37-1192
22	Ⅳ － 24	中国木材株式会社　東海プレカット		421-0213	静岡県焼津市飯淵2027	054-622-7642
25	Ⅳ － 26	ナイスプレカット株式会社　滋賀工場		520-2322	滋賀県野洲市南桜156	077-586-7121
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －				

＜様式 2-2・Ｖ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ｖ．設計（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に設計事業者を含まない場合、その理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号	省エネ講習修了済	省エネ講習受講予定
Ｖ．設計							○	○
22	Ｖ － 33	株式会社平成建設一級建築士事務所		410-0022	静岡県沼津市大岡1540番地の1	055-962-1000	○	
22	Ｖ － 34	平成総研一級建築士事務所		410-0022	静岡県沼津市大岡1540番地の1	055-963-2001	○	
22	Ｖ － 35	株式会社杉本建設工業1級建築士事務所		410-0847	静岡県沼津市千本中町46-2	055-963-1929	○	
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							

<グループ構成員記入用リスト>Ⅵ. 施工-1(長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通)

<様式 2-2・Ⅵ-1>

県番号	構成員番号	事業者番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号	省エネ講習修了済	省エネ講習受講予定
Ⅵ. 施工-1(長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通)							7	○	○
22	Ⅵ - 1	75042	株式会社平成建設		410-0022	静岡県沼津市大岡1540番地の1	055-962-1000	○	
22	Ⅵ - 27	74985	株式会社工栄建設		410-0022	静岡県沼津市大岡1517番地の1	055-964-3300		○
22	Ⅵ - 28	75037	株式会社不動建設工業		410-0004	静岡県沼津市本田町7番35号Casa1F	055-916-5722		○
22	Ⅵ - 29	75283	有限会社　蓮沼建設		410-0834	静岡県沼津市上香貫槙島町　1263－2	055-931-7397		○
22	Ⅵ - 30	75342	有限会社西島建築設計工務		410-2211	静岡県伊豆の国市長岡1288	055-948-0898		○
22	Ⅵ - 31	75013	株式会社杉本建設工業		410-0847	静岡県沼津市千本中町　46－2	055-963-1929		○
22	Ⅵ - 32	75313	有限会社みらい社		412-0021	静岡県御殿場市二枚橋45－24	0550-82-7291		○
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -							

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅵ. 施工－2（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

県番号	構成員番号	事業者番号	事業者名	平成29年（1月～12月）の元請実績及び直近3年の年平均元請実績										補助金活用実績の合計数(H27～H29)			被災地に該当	ZEHビルダーに該当	BELS工務店に該当
Ⅵ. 施工-2				元請の新築住宅供給戸数		うち木造長期優良住宅の実績		うち認定低炭素住宅・性能向上計画認定住宅の実績合算		うち木造ゼロエネ住宅の実績		優良建築物の着工床面積の実績		長期優良住宅	高度省エネ型住宅	ゼロエネ住宅	○	○	○
				H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均						
22	Ⅵ － 1	75042	株式会社平成建設	205 戸	242 戸	65 戸	76 戸	2 戸	2 戸	3 戸	4 戸	㎡	㎡	4以上	3以下	4以上		○	
22	Ⅵ － 27	74985	株式会社工栄建設	0 戸	1 戸	0 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
22	Ⅵ － 28	75037	株式会社不動建設工業	1 戸	3 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
22	Ⅵ － 29	75283	有限会社 蓮沼建設	3 戸	4 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
22	Ⅵ － 30	75342	有限会社西島建築設計工務	5 戸	5 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
22	Ⅵ － 31	75013	株式会社杉本建設工業	5 戸	5 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
22	Ⅵ － 32	75313	有限会社みらい社	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡		

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅶ. 木材を扱わない流通

＜様式 2-2・Ⅶ＞

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅶ. 木材を扱わない流通						
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					

＜様式 2-2・Ⅷ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種（畳、瓦、襖等の住宅資材の供給事業者等）

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種						
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（長寿命型・高度省エネ型・優良建築物型共通）　　＜様式3－1＞

1．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称） 地域に根付くDAIKU　MINDの住まい	（地域型住宅供給対象地域） 静岡県、神奈川県、東京都
2．グループの名称・結成年（必須）	（グループの名称） DAIKU　MINDの家造り	（結成年） 2016　年
3．過去のグリーン化事業採択グループ番号（必須）	06-0658-0424	

4．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み　※記入した内容おいて「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ア．特徴ある地域型住宅の目標設定

【平成30年度対応方針】		◎、○記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	将来発生する可能性が高い東海地震、東南海地震を重視し耐震等級2以上とする。気候風土に恵まれている当地域においても、一次エネルギー消費量の削減と良好な健康状態の維持の為、夏の厚さ対策、冬のヒートショック対策として省エネ性に優れた、断熱性の高い住宅の供給を重視する。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	東海地震は安政東海沖地震から150年以上もの時が経過し、今後、30年以内に88%の高い発生率のある地域で有る為、建物の耐震等級により性能を担保する。同様に大正関東地震からも96年経過し東海地震と同様に建物の耐震性能を担保する必要が有る。在来工法はに依る建物は、仕口、継手を大工の技又はプレカットに依る制度の高い刻みによる計画を実施し、金物工法に依る建物は、構造計算と金物に依り耐震性の高い建物とする事により、性能評価耐震等級2なみ以上とするが、出来る限り耐震等級3なみの建物とする。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	静岡県では温暖地で有る事を有効に利用するとともに、自然光の利用を考えた住宅デザインを実施する。神奈川県、東京都の住宅密集地では、有効的に少しでも多くの自然光を取り入れると共に、通風も考慮することにより外部環境に左右され難い断熱性の高い建物を計画する。また、断熱性能を重視する事により、建物全体的な一次エネルギー消費量削減を目指す。	○
④ ①～③の背景	①地域的に30年以内に大規模な地震が発生する割合が88%と高い為。 ②他地域と比べ温暖な気候に恵まれ、自然の力を利用することしやすい地域で有る為。 ③日照時間が比較的長く、自然光の利用がしやすい為。	○
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	建築主の個性を生かしつつDAIKU　MINDを考えた建築の創造と、建築主との協働を目指す。	◎

イ．効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備

【平成30年度対応方針】					◎、○記入欄
a	①-1 用材の寸法規格化	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：一般的に流通されている規格である105mm角、120mmm角材を使用し、構造的にも、材積的にも有利である構造グリッドを考慮した設計内容とする。	◎
	①-2 使用建材の統一	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：昨年度、グループ内における資材調達についての協議が実施出来なかった事を踏まえ、長期優良、性能評価取得に関し、経験工務店が中心となり工法指導等を実施すると共に資材の調達先を共有出来るようにする事を目指す。	○
	①-3 標準仕様の設定	■ 行っていない	□ 行っている→	内容：各社のノウハウを生かし、各々の社風に合った仕様とする。また、各々の良い所を生かし、将来的に統一した標準仕様の作成をするための検討会を設置する事を目指す。	○
	②-1 建材・資材調達の共同化	■ 行っていない	□ 行っている→	内容：	
	②-2 調達事務の合理化	■ 行っていない	□ 行っている→	内容：	
	③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：各委員会の設立を目指す。 維持管理委員会（設計から完成・維持管理までについて） 技術委員会（構造全般について、省エネルギ手法についての技術の共有化） 普及・育成委員会（各事業者に所属する社員のスキルアップを図す）	○
	④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	□ ない	■ ある →	内容：委員会等の設置により、委員会での討議の内容をメールで各社に発信する。また、必要と思われる講習会等の情報をグループ内に発信する。	○
b	① グループの信頼性向上に向けた施工基準	□ ない	■ ある →	内容：瑕疵担保保険法人の設計施工指針に準じた施工を行う。	○
	② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	□ ない	■ ある →	内容：瑕疵担保保険法人の検査チェックシートの基づいた検査を行う。	○
	③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	■ ない	□ ある →	内容：瑕疵担保保険法人の検査チェックシートの基づいた検査を行う。	
	④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	■ ない	□ ある →	内容：建物本体価格についての見積表示方法として建築主に解りやすい書式をグループとして検討してゆく。	
c	① 週休2日制の導入の取組	□ ない	■ ある →	内容：隔週週休2日制：2社、完全週休2日制：3社、未実施：1社　が現状で有るが、今後完全週休2日制の実施をグループとして目指してゆく。	○
	② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	□ ない	■ ある →	内容：各社とも、熟練工に依る若い人への技術の伝達に努めている。	○
	③ 社会保険への加入	□ ない	■ ある →	内容：各社毎に社会保険へ加入している。	○
	④ 安全及び健康の確保のための取組	□ ない	■ ある →	内容：年1回の健康診断の実施及び市町村の健康診断への参加の推奨などの取り組みを各社毎に実施している。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	大工の手に依る木材の加工、木製品等の採用を促し、大工の技と精神を受け次ぐ職人集団としての社会的な地位の確立を目指す。一方で、構造の合理化を図る事により構造、工法の検討をする。				○

※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（長寿命型・高度省エネ型・優良建築物型共通）　　＜様式３－２＞

１．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称）地域に根付くDAIKU　MINDの住まい	（地域型住宅供給対象地域）静岡県、神奈川県、東京都
２．グループの名称・結成年月（必須）	（グループの名称）DAIKU　MINDの家造り	（結成年）2016　年
３．過去のブランド化事業採択グループ番号（必須）	06-0658-0424	

4．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

※記入した内容おいて「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ．長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成30年度対応方針】						◎、○記入欄
a	①住宅履歴情報の蓄積	①-1 内容・蓄積の共通ルール	□ ない	■ ある →	内容：自社における住宅履歴管理システムの構築または、住宅履歴管理機関への登録を推奨	○
		①-2 情報サービス機関の活用	□ ない	■ ある →	内容：自社システムで無い場合、JBN「いえもり・かるて」を推奨	○
		①-3 履歴情報蓄積の確認手法	□ ない	■ ある →	内容：物件情報は事務局にて確認し、各社は事務局へ各種情報を報告する。	○
	②メンテナンス基準の整備	②-1 点検の共通ルール	□ ない	■ ある →	内容：維持保全計画書に基づいた点検の実施をする。	○
		②-2 補修の共通ルール	■ ない	□ ある →	内容：	
		②-3 点検補修実施の確認手法	■ ない	□ ある →	内容：	
	③住まいの管理	③-1 住まい管理勉強会の実施	□ ない	■ ある →	内容：年間2回、必要な時期を定めメンテナンスに関しての勉強会の開催を企画する。	○
		③-2 DIY体験会等の実施	□ ない	■ ある →	内容：年間2回、必要な時期を定めメンテナンスに関しての勉強会の開催を企画する。	○
		③-3 その他の相談会等の実施	□ ない	■ ある →	内容：各事業者毎に相談会の実施又は地域で実施している相談会への誘導	○
	④	維持管理委員会等の設置	■ ない	□ ある →	内容：	
	⑤	その他の維持管理の手法	■ ない	□ ある →	内容：	
b	①	グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール	□ ない	■ ある →	内容：倒産廃業した構成員の代わりに、グループ内で引き継ぐ業者を斡旋する。	○
	②	過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施	□ ない	■ ある →	内容：検査機関に依る防水施工研修会を実施し、施工マニュアルの利用を推奨する。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。			今後起こるであろう地震に対してエンドユーザーの生命への危険をなくし、安心して住み続ける事の出来る家造りを進めてゆく。			○

エ．グループの技術力の向上

【平成30年度対応方針】						◎、○記入欄
a	①	未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	□ ない	■ ある →	内容：事務局主催でグループ構成員を対象にした施工技術に関する勉強会を適宜実施する。	○
	②-1	品質管理のための共通ルール	■ ない	□ ある →	内容：	
	②-2	上記共通ルールが守られていることの確認手法	■ ない	□ ある →	内容：	
	③-1	需給計画の策定	■ ない	□ ある →	内容：	
	③-2	技術力向上のための中長期的な計画	□ ない	■ ある →	内容：2020年までに各社が建築する住宅の半数の一次エネルギー消費量を20%削減する。	○
	④	③に基づく業種ごとの合理化の取組	□ ない	■ ある →	内容：各社で、断熱性能、一次エネルギー消費量計算を自社で完結できる様に努力する。	○
b	①-1	省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数	昨年度までの終了者数　21		今年度の参加目標人数　10	
	①-2	省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数	昨年度までの終了者数　0		今年度の参加目標人数　2	
	②	省エネ技術講習会への参加促進のための取組	□ ない	■ ある →	内容：事務局より省エネ技術者講習会の案内を各社へ送付する。	○
c	①	新たな技術等の導入	□ ない	■ ある →	内容：現場や業務に携わるグループ構成員が講習会等で勉強できる機会を作る。	○
	②	新たな技術等の開発	□ ない	■ ある →	内容：現場や業務で中で不具合が有った場合などにつきグループ構成員と解決策を考えて行く。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。			木造住宅において大工の技を中心に捉え、DAIKU　MINDを継承し、未来へと伝えるとともに新しい技術とのコラボレーションを図る。			○

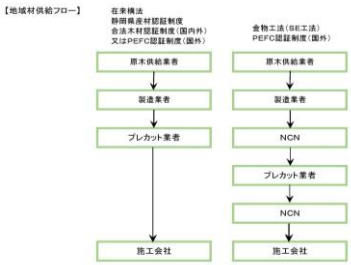
※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（長寿命型・高度省エネ型・優良建築物型共通）　　＜様式３－３＞

１．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称）地域に根付くDAIKU　MINDの住まい	（地域型住宅供給対象地域）静岡県、神奈川県、東京都
２．グループの名称・結成年月（必須）	（グループの名称）DAIKU　MINDの家造り	（結成年）2016 年
３．過去のブランド化事業採択グループ番号（必須）	06-0658-0424	

４．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み　※記入した内容おいて「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

オ．地域の産業・住文化・景観等への寄与

【平成30年度対応方針】			◎、○記入欄
a	① 地域材利用に関する共通ルール（必須）	在来工法においては、主要構造部で有る（土台・柱・梁・桁）に静岡県産材又は国内・国外の各認証制度により合法性の証明される「地域材」を合計50%以上使用する(集成材含む)。金物工法(SE構法他)においては、主要構造部である（柱・梁・桁）に国外の各認証制度により合法性が証明される「地域材」を50%以上使用する（集成材含む）。金物工法（SE工法他）においては。土台については共通ルールから除く事とする。	
	② 地域材利用の1棟当たりの割合（必須）	□ 50%未満　■ 50%以上　□ 80%以上	
	③ 標準的な地域材の使用部位（必須）	主要構造材　土台：■ 使用していない　■ 使用している 柱：□ 使用していない　■ 使用している 梁・桁等の横架材等：□ 使用していない　■ 使用している 羽柄材　間柱、根太、垂木等：■ 使用していない　□ 使用している 造作材　枠材、廻縁等：■ 使用していない　□ 使用している 板材　壁板、床板等：■ 使用していない　□ 使用している	
	④ 地域材の流れ（フロー図）などグループの取組に関する補足説明		
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	■ ない　□ ある →　内容：	
	①-2 地域材価格の共有の仕組	■ ない　□ ある →　内容：	
	② グループ全体における地域材の需給予測	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：	
c	①-1 畳の活用	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：　計画建物の中に出来る限り1か所畳床の部分を設ける事を推奨する。	
	①-2 和瓦の活用	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：	
	①-3 襖の活用	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：　和室を設けた場合の和室側には、襖を活用する事を推奨する。	
	①-4 障子の活用	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：　カーテン、ブラインドを設置しない居室には障子の活用を推奨する。	
	②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：	
	②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：	
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：　日射のコントロールの為に、出来る限軒の出を深くする事を進めている。	○
	② 地域の住まい方の継承につながる取組	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：　窓位置・サイズの決定に際し、卓越風と建築地の実際の風向きを考慮する。	○
	③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：　街並みを考慮し、景観を損ねないデザインを心掛ける。	○
	④ 和の住まいの要素を取入れた取組	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		物件に既製品では無く、大工の手に依る部材や家具を必ず入れ、大工の技と精神を将来へと伝えてゆく。	○

カ．その他

【平成30年度対応方針】		◎、○記入欄
東日本大震災の復興に資する取組	引き続き、床用構造号はについては東日本エリアの工場で生産されている物を使用する。	◎
平成28年熊本地震の復興に資する取組	計画段階で畳の活用を推奨し、国産いぐさの使用が可能な場合には、熊本産いぐさを使用出来る様にする事をグループで共有する。	○

※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

１．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称）地域に根付くDAIKU　MINDの住まい	（地域型住宅供給対象地域）静岡県、神奈川県、東京都
２．グループの名称・結成年月（必須）	（グループの名称）DAIKU　MINDの家造り	（結成年）2016 年
３．過去のブランド化事業採択グループ番号（必須）	06-0658-0424	

４．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

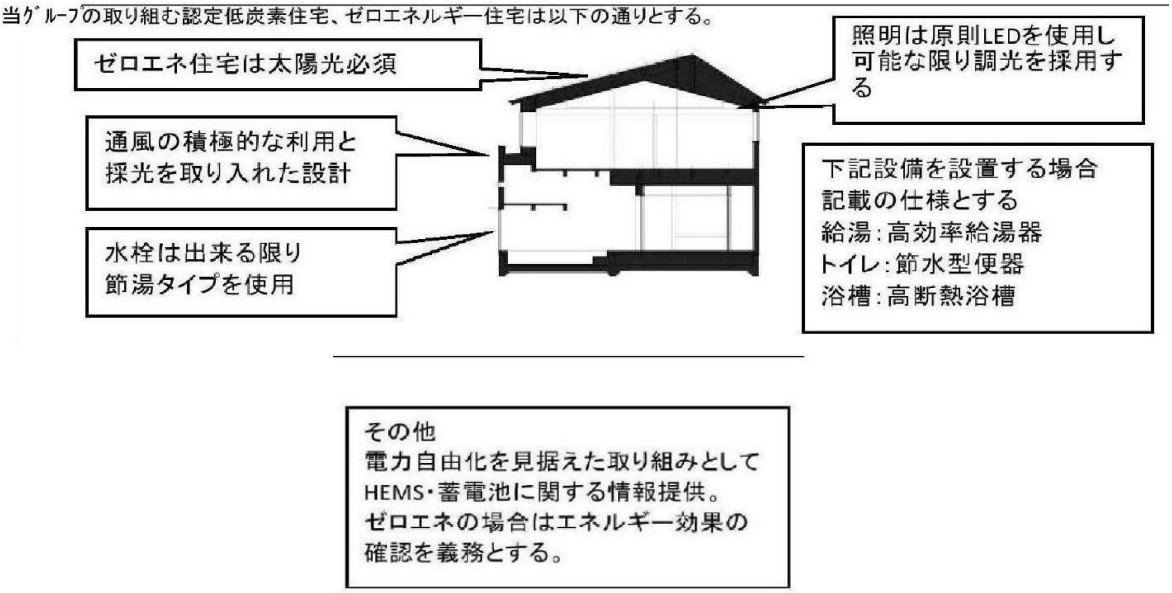
キ．グループが取組む木造住宅・建築物の特徴
※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。
※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

当グループでは、太陽光設備の大型化や、複数の設備の使用によってゼロ・エネルギー住宅に適応させるのではなく、基本的な断熱性能を高めた住宅の設計・施工を目指したうえで、必要以上の設備に寄らないゼロ・エネルギー住宅の構築を目指します。

断熱性能を高めたうえで、太陽光等の設備を考える事で、設備費用を抑える事が出来るだけでなく、お客様がお客様の都合に合わせてお住まいになっている住宅をゼロ・エネルギー 住宅にする事が出来るからです。これはレディー型ゼロ・エネルギー住宅となり、新築時でゼロ・エネルギー住宅に出来なかったお客様でも簡単な設備の追加でゼロ・エネルギー住宅にする事が出来ます。最終的にグループで建築した建物全てがゼロ・エネルギー住宅化出来る事が目標です。新築だけでなく、リフォームに依るゼロ・エネルギー住宅の普及を考えております。

まだまだ、グループ内のすべての事業所がUa=0．6、一次エネルギー消費量削減率20%をクリア出来ているわけでは有りませんが、2020年を見据えて各事業所がゼロ・エネルギー住宅を建築出来るスキルを身に付ける事が出来る様にしたいと考えております。 一部事業所では先行してUa＝0．5を目標とし略達成しています。事務局の指導のもとでその先行している事業所を中心に未達成の事業所に対する技術支援を実施し、グループ全体としての建物性能を上げてゆきたいと考えています。

当ｸﾞﾙｰﾌﾟの取り組む認定低炭素住宅、ゼロエネルギー住宅は以下の通りとする。



その他
電力自由化を見据えた取り組みとして
HEMS・蓄電池に関する情報提供。
ゼロエネの場合はエネルギー効果の確認を義務とする。

※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。